

美波町議会だより

題字「美波」
馬淵ナフエさん（西の地）

6月定例会の概要	p4
各議員の賛否	p5
一般質問目次	p8
議会だより報告会	p16
議長・議員の活動報告	p19
あの答弁、ほのあとどないなっとな!?	p20

新設西町ポンプ場から排水される雨水

第53号

2019年（令和元年）6月定例会



令和元年9月13日 発行：徳島県美波町議会

消費増税対策に商品券発行

消費税増税（8%→10%）による負担軽減と消費の下支えをするために
プレミアム付き商品券事業に 3500 万円

商品券補助金		1000 万円	30%	
発行事務費	臨時雇い賃金	530 万円	2500 万円	70%
	通信運搬費	110 万円		
	システム委託料	250 万円		
	販売委託料	1320 万円		
	リース料	100 万円		
	その他	190 万円		
計		3500 万円	100%	



◆プレミアム商品券

商品券は、1冊5000円（5000円×10枚）。これを、4000円で購入できる。

対象者一人5冊まで買える。

町内の登録店で買い物するとき使える。

使えるのは今年度限り。

◆商品券を买える人

●令和元年度の住民税が非課税の方。ただし、住民税課税者と生計が同一の配偶者、扶養家族、生活保護受給者などは除く。

●9月30日に3歳半以下の子（申請不要）

◆申請の受付場所

●町福祉課と由岐支所

◆申請の期間

●8月20日から2月21日
申請後、購入引換券が役場から届く。

◆商品券の購入期間

●10月1日から2月28日

◆商品券の使用期限

●10月1日から令和2年3月31日まで。町内の登録店で使用できる。

◆登録店

●8月末現在80店
美波町ホームページで見られます。

審議内容

質疑 戒野議員

全額国庫補助で3500万円計上しているが、委託

料1500万円をどうするのか、また対象者は何人か。

【答弁】 大三福祉課長

商店の募集、換金は商工会に委託する予定。

対象者の数は、住民税非課税者で所得を申告していない人を含めて約2000人。3歳半以下の子どもは約100人と見ている。

質疑 中川議員

この事業は、国費3500万円の内の1000万円を低所得者などに還元するが、直接3500万円配ったほうが効率的ではないのか。

【答弁】 大三福祉課長

前回は、臨時福祉給付金として直接現金で支援した。また商品券補助もあった。

今回は、全国で同じ事業を各自治体が行っている。国の方針に則ったうえで美波町はしていく。

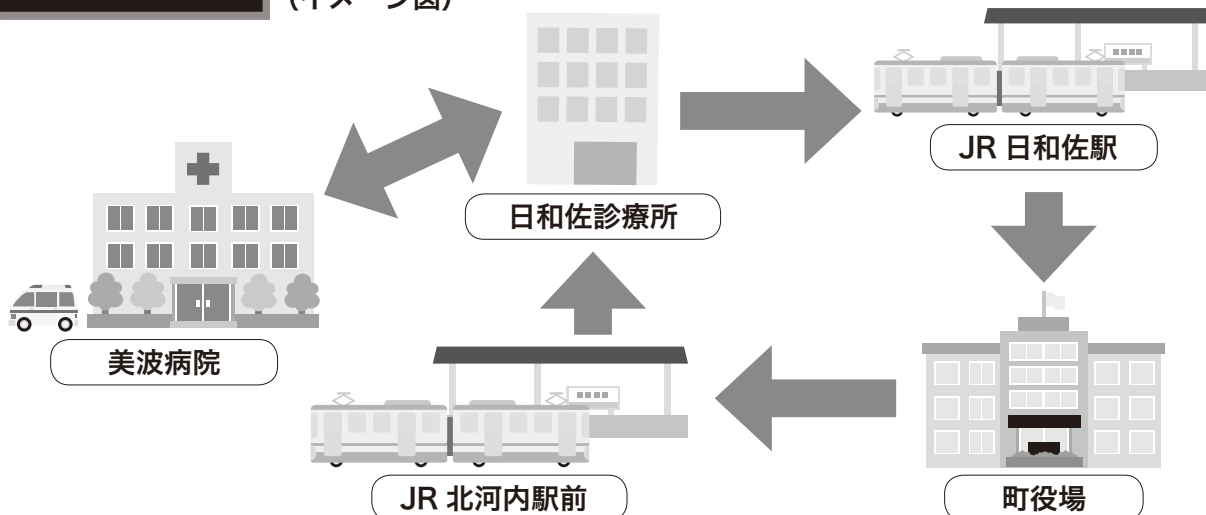
病院連絡バスの2系統化へ

新たに連絡バスを購入し、10月1日から2系統化。

由岐地区は志和岐・東由岐・西由岐まで、日和佐地区は日和佐駅・役場・北河内駅まで経路が拡大される。

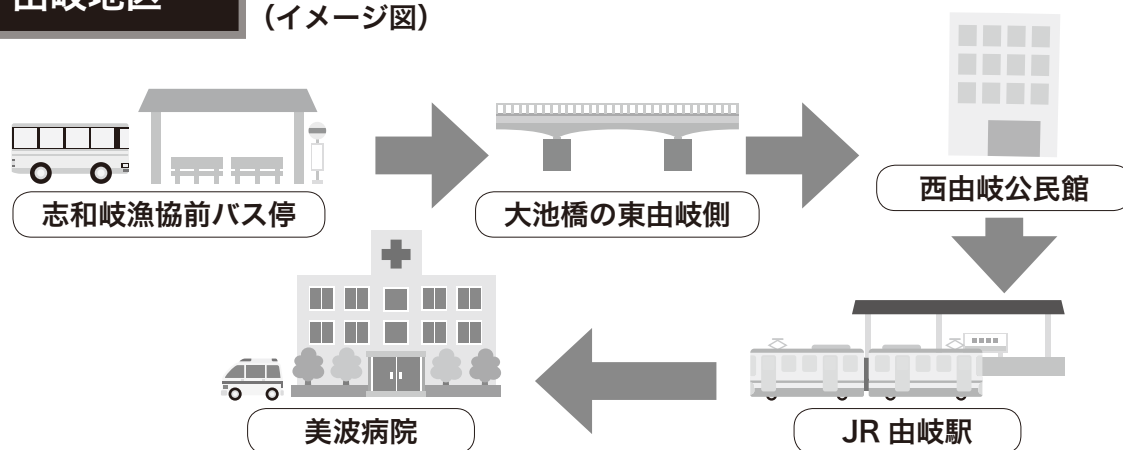
日和佐地区

(イメージ図)



由岐地区

(イメージ図)



利便性向上が期待される。

◆令和元年度一般会計
補正予算

●病院連絡バス

新車購入370万円

(地方債: 330万円)

一般財源: 40万円)

10月1日より2系統(2台)
で運行する。

町内のタクシー業者に運行
を委託する。

6月定例会の概要

(6月13日から20日まで8日間開催)

影治町長より3月定例会以降の「諸般の報告」があった。専決処分9件、契約2件、報告4件、条例議案5件、変更議案2件、委託協定1件、補正予算2件、人事案件1件の全26議案の提案理由説明があった。

◆報告第3号 一般会
計繰越明許費 25事業
9億4169万円

【質疑】 北山議員

農山漁村活性化事業の内容と繰越理由は。

【答弁】 島村産業振興課長
伊座利漁協で購入を希望したフオークリフトがなかったことから繰り越した。事業内容は農林漁業の振興や農林漁村の担い手対策に補助。

【質疑】 山本議員
道の駅物産館の修理を迅速に取り組め。

【答弁】 島村産業振興課長
一旦補修しており、今後工事を進める。

◆議案第37号 大浜津波避難タワー、えびす津波避難タワーの管理条例

【質疑】 舛田議員

タワーの見学に許可が得るのか。

【答弁】 近藤消防防災課長
許可はもらえない。

【質疑】 山本議員
名称を付けた経緯は。また、高さの表示が必要ではないか。

【答弁】 近藤消防防災課長
名称は地元代表者と相談して決めた。避難階までの高さは表示している。

【質疑】 宮原議員
タワーの使用許可はどのような場合か。

【答弁】 近藤消防防災課長
安全上十分な管理のうえ行事を行って欲しい。

【質疑】 岩瀬議員

バーベキューはどうか。

【答弁】 近藤消防防災課長
火を使うことは遠慮して欲しい。

◆議案第40号 サーバ
ー購入 3240万円
相手…NTT西日本徳島支店

説明…新システムは2台のサーバーにして、場所や維持経費を削減する。

◆議案第41号 ノートパソコン購入217台
1295万円
9社が入札。
落札(株) テック情報

【質疑】 戎野議員
どこに置くのか。

【答弁】 浜総務課長
本庁舎と日和佐の出入に143台、支所と由岐の出入に40台、学校に34台を配置する。

◆議案第44号 町教育委員の任命

野村耕司氏の任期満了により、東田久代氏(日和佐浦)を任命。任期は7月2日から4年間。



避難タワー、普段の利用を！



東田 久代氏

第2回定例会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案		結 果
議案第32号	専決処分の承認	承認
報告第3号	平成30年度 一般会計繰越明許費繰越計算書	承認
報告第4号	平成30年度 簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	承認
報告第5号	平成30年度 公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	承認
報告第6号	平成30年度 水道事業会計繰越計算書	承認
議案第33号	災害弔慰金支給条例の一部改正	可決
議案第34号	重度心身障害者医療費助成条例の一部改正	可決
議案第35号	介護保険条例の一部改正	可決
議案第36号	伊座利多世代交流・多機能拠点施設設置・管理条例の一部改正	可決
議案第38号	組織団体数の減少で徳島県市町村総合事務組合規約の変更	可決
議案第39号	過疎地域自立促進計画の一部変更	可決
議案第40号	物品購入契約（平成31年度町情報系システム更改）の締結	可決
議案第41号	物品購入契約（平成31年度町行政情報端末パソコン更新）の締結	可決
議案第43号	令和元年度 介護保険事業特別会計補正予算	可決
議案第44号	教育委員会委員の任命	同意
発議第5号	新たな過疎対策法制定の意見書	可決

※議案の名称は短縮してあります。

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ 議長…― 賛成…○ 反対…× 退席…退

議 案	議 員 名	戎野	北山	川尻	山本	丸龍	舛田	松本	岩瀬	向山	中川	寺下	宮原	結 果
		博	朝彦	竹藏	正男	孝敏	邦人	晋児	公	篤宏	尚毅	博子	英夫	
議案第37号	津波避難タワー設置・管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	―	×	○	○	可決
議案第42号	令和元年度 一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	―	×	○	○	可決
議案第45号	公共下水道寺前ポンプ場工事委託の協定締結	○	○	○	○	○	○	○	○	―	×	○	○	可決
請願第1号	請願の正しい判断を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	―	○	×	○	不採択
請願第2号	「議会は機能しているか、議員の資質を問う」請願	○	○	×	×	×	×	×	×	―	○	×	○	不採択
請願第3号	議員派遣の適正な審査を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	―	○	×	○	不採択

※議案の名称は短縮してあります。

住民からの請願3件 不採択

請願者…井筒宗武氏（日和佐浦）
紹介議員…中川尚毅

適正な議員派遣へ

◆請願第3号「議員派遣についての適正な審査を求める請願」

のはいつか。

【答弁】 松本委員長

8月末に前議長から口頭で許可を得た。航空券は9月上旬に依頼し、10月8日購入。

したというが、2月14日は開会してすぐやめた。請願者の趣旨には合わないので委員長報告には納得できない。不採択は乱暴である。

反対 寺下議員

議会運営委員会を3回開催し、誠実に対応している。請願の内容の妥当性と実現可能性を基準にしても、この内容は請願として妥当ではない。

賛成 戎野議員

請願内容の「目的の変更ができる状況とは」に答えていない。広報研修の目的以外の研修を受講する手続きがなされていなかった。

賛成 北山議員

議員派遣に関与した議員が審議するというのは住民の理解を得られない。

賛成 宮原議員

請願は議会の解釈、説明

賛成4…反対7
請願 不採択

採決結果

住民目線での判断へ

◆請願 第1号「請願について正しい判断を求める請願」

■議会運営委員会報告
不採択（賛成2…反対3）

【質疑】 戎野議員

町民が公文書の記載ミスと指摘した請願を「否決」することは指摘に对应していない。2月14日の請願での指摘から訂正シール配布の

【請願趣旨】

公文書誤りの是正を申し入れたが、未だに訂正されていない。公文書に対する適正な取り扱いを求める。

「請願の自身を議論せず、形式的な運営が繰り返されている。これは委員会が審査を放棄したものであり、住民の請願権を侵害するものだ。」

■議会運営委員会報告
不採択（賛成2…反対3）

【質疑】 中川議員

研修許可を申請したのは航空券購入の前か後か。研修許可を議長が出した

●討論

賛成 中川議員

委員長は3回で十分審議

6月5日までかかった理由は。

【答弁】 松本委員長

委員会では、そのような議論はなかった。

●討論

賛成 中川議員

もつと、議論を尽くすべきで一度採択して請願者に丁寧の説明するべきである。

反対 丸龍議員

請願内容の妥当性と実現の可能性を判断する基準としていので内容が請願として妥当でない。

賛成 戎野議員

公文書の記載入力ミスと認めているながら、その請願を不採択にするのは論理が一貫していない。

賛成 北山議員

監査に間違いがあつてはならない。指摘を真摯に受

け止め二度と間違いがないようにすべき。

賛成 宮原議員

記入ミスということがはっきりしているのだから回答しても何の差支えもない。不採択にして答えを出さないのは不誠実である。

採決結果

賛成4・・・反対7

請願 不採択

正しく機能する議会へ

◆請願第2号「議会は正しく機能しているのか、議員の資質を問う請願」

【請願趣旨】

広報委員会の所管外研修の報告、会議録が存在しない。それは提案者の川尻議長長の責任と考える。その当時、議会は機能していたのか。

■議会運営委員会報告
不採択（賛成2・・・反対3）

【質疑】 北山議員

広報委員会が地方創生の研修を受講した根拠について議論されたのか。

【答弁】 松本委員長

なかったと思う。

【質疑】 中川議員

委員会の役割分担を無視しているのか。職員の復命書をそのままいくのか。

【答弁】 松本委員長

広報の委員会が総務産業所管の研修に行ったことはお詫びした経緯がある。

●討論

賛成 中川議員

十分な議論を尽くしたとは言えない。採択して明確な返事を請願者に返すべきではないか。

賛成 北山議員

所管する委員会で研修すべきという請願者の趣旨を真摯に受け止め採択すべき。

賛成 戎野議員

復命書等の回答できるものには採択していくべきだ。

賛成 宮原議員

議員活動について説明を求められており、答弁できることである。

採決結果

賛成4・・・反対7

請願 不採択

請願書の形式

①請願書には、邦文を用い、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名（法人の場合にはその名称及び代表者の氏名）を記載し、押印すること。
②議員の紹介により、請願書を提出すること。

（美波町議公会会議規則）

7人の議員が 町政をチェック

一般質問

(登壇の順で掲載)

舛田邦人議員	①高齢者の免許証返納に「優遇制度」は ②ワールドマスターズゲームズの取り組みは	p9
寺下博子議員	①財政の現況と今後の取り組みは ②「谷屋」の具体的な進捗を知りたい	p10
宮原英夫議員	①住民意向調査は、高台への誘導ではないか ②監査指摘事項の改善状況を監査していない理由は	p11
北山朝彦議員	①債権の管理条例・管理マニュアルは並行して策定を ②奨学金制度で人材を町に留める施策を	p12
戎野 博議員	①し尿処理施設を廃止し、日和佐浄化センターに統合 できないか ②配食サービスの改善策を	p13
山本正男議員	①映画「波乗りオフィスへようこそ」をどのように上 映していくのか ②持続可能な稲作農業への取り組みは ③斎場の統合計画はないのか	p14
中川尚毅議員	①学校の統合計画は ②返還金 700 万円の時効はいつか	p15

※議会だよりの発言内容は要約されています。全文を記載した議事録・動画は町のホームページでご覧ください。

※一般質問とは、町のさまざまな課題について議員が町に考えを聞く質問のこと。

議員は年4回開催される定例会において、政策提言も含めて質問をすることができ、内容は自由です。質問と答弁がかみ合うよう事前通告制となっています。

一般質問

1 高齢者の免許証返納に「優遇制度」は

弁 答
タクシー・バス・鉄道の運賃の割引や貯蓄
金利息の割増の支援活動がある



田 邦 議員
ます だ く に ひ と

質 問
本町で65歳以上の免許保有者と、返納された人数は。自主返納者に対する優遇制度はあるのか。また、シニアカーに補助はできないか。

● 答 弁 近藤消防防災課長
5月末現在で、65歳以上の免許保有者は1,679人、自主返納者は10人、

経歴証明書を発行者は7人となっている。過去の自主返納者は30年度が31人、29年度が30人となっている。県内各事業所の協力により運転免許返納者に対してタクシーの運賃の割引や貯蓄金利息の割増（注1）、バスや鉄道料金の割引等の支援活動が行われている。割引制度利用には、運転経歴証明書の提示が必要。

● 答 弁 大三福祉課長
シニアカーは、歩行者として扱われ免許証返納者に対しての補助制度はない。

しかし、「日常的に歩行が困難な者」や「日常生活圏で移動支援が特に必要と認められる者」を対象に購入やレンタルに対して補助制度はある。

2 ワールドマスターズゲームズの取り組み

弁 答
早く実行委員会を立ち上げ、大会を成功させたい

質 問

2021年美波町で開催のトライアスロン、アクアスロン大会の開催日が決定したと聞く、最新の動きを教えてください。

● 答 弁 岸本政策推進課長
美波町では5月22日・23日の2日間にわたり開催することが決定している。22日は、「スプリント」（注2）

（注1）貯蓄金利息の割増一部金融機関で自主返納者向けの定期預金を実施している。（預入時の店頭表示利率+0.3%を初回満期日まで適用）

「パラトライアスロン」（注3）「アクアスロン」（注4）を実施する。23日は、「ラみがめトライアスロン」と同様の実施としており、募集人数は300人増の1,000人としている。

質 問

2017年、町長は、ニュージールランド（オークランド）の第9回大会を視

察しているが、向こうで受けた印象は。

● 答 弁 影治町長
2年前の4月にオークランド大会を視察してきた。印象は、競技自体は選手の自己責任だと強く感じた。できるだけ早く実行委員会を立ち上げ、準備を関係者の皆様方と充分練りながら、この大会が成功できるように、しっかりと務めていきたい。

（注2）スプリント
トライアスロンの半分の距離で行う。（スイム1.5km、バイク20km、ラン5km）
（注3）パラトライアスロン
障がい者のトライアスロンで距離はスプリントと同じ。
（注4）アクアスロン
スイムとランの2種目で行う。距離はスプリントと同じ。

1 財政の現況と今後の取り組みは

答 弁
 今後一層の、経費削減、選択と集中の事業展開を心がけ、行政サービスの低下を招かないよう努めたい



議員 子博 ひろこ 下寺

減に取り組む。

質 問
 職員数等人件費に対する町の考えは。

● 答 弁 浜総務課長

質 問
 財政の現況と経常収支比率の適正水準に向けた取り組みは。

● 答 弁 浜総務課長

本町の経常収支比率の平成22年度からの数値上昇の主な要因は、経常経費の扶助費が6900万円の増、経常一般財源の地方交付税が2億3000万円の減であり、今後義務的経費以外の経常経費である補助費、物件費等も含めた経費の削

定的な行政サービスへの財政見通しは。

● 答 弁 浜総務課長

政府が掲げる高齢社会対策に基づき、国の施策に沿った取り組みを行う。平成30年度末の起債残高は79億5309万4千円であり、実質的な地方債残高は、22億3775万7千円。基金の積立残高は44億1840万8千円となっている。起債

償還にあたっては、減債基金を有効活用しながら負担軽減に努める。

質 問

持続可能な財政運営に向けた新公会計制度の活用は。

● 答 弁 浜総務課長

財務諸表の整備、公表については、平成28年度から義務付けられており、町のホームページで公表している。

質 問

国登録有形文化財に指定されていることから、美波町文化財保護審議会との連携は検討されているのか。

● 答 弁 岸本政策推進課長

2 「谷屋」の具体的な進捗を知りたい
 今後も、月1回検討会を実施し、活用や運営方法について検討する

質 問

実施中の改修工事の状況は。

● 答 弁 岸本政策推進課長

現在、ほぼ持ち上がり、6月末から基礎工事に着手。10月をめどに据え付け、耐震工事、屋根工事に着手。

主屋の据え付けが完了後、みせ・産屋の曳家工事に着手する予定。

質 問

活用方法の検討状況は。

● 答 弁 岸本政策推進課長

5月26日に地元町内会及

現在は建物の活用に関しての動きであるが、今後必要であれば文化財保護審議会での協議等連携していく。

● 答 弁 寺内教育長

現在、関係団体と情報共有しながら調査、保存、活用について検討したい。

①住民意向調査は、高台への誘導ではないか

弁 答 住民がどの施策を重視しているのかを確認するために5段階評価とした



みやはら ひでお夫 議員

質問

日和佐地区高台整備事業の根拠のひとつとした平成26年11月実施の事前復興まちづくりに関する住民意向調査。この中で「高台に公共施設を移転させること」など15項目について「全く重要でない」を1点、「とても重要」を5点として回答に差をつけて評価したのは合理的でない。わざと回答結果を高台整備事業に誘導するためではないか。

●答弁 近藤消防防災課長 今後取り組むべき15項目について、重要か、重要でないかを5段階で評価している。点数が高いほどその施策を住民が重要視しているような見方にはなっていない。

質問

この調査で「仮設住宅や住宅再建のための土地を確保する」ことは、重要度は11番目と低い。高台に仮設住宅用地を造るといふ根拠にはならない。他に根拠はあるのか。

●答弁 鶴木建設課長 この調査項目の中で11番目で重要視されていないか

ら対策への優先順位が低いということではない。避難生活の場を確保することは必要と考えており、本町の課題である。

質問

「全く重要でない」も「とても重要」も同じ1点で評価するべき。5段階の評価は公正でない。

②監査指摘事項の改善状況を監査していない理由は

弁 答 現在は、議員派遣の状況を示す文書が整備され適正に処理されている

質問

議会広報特別委員会東京研修（平成28年10月出張）について、「必要性が明確でないため旅費の支出は認められない」とした監査委員の指摘後、その改善状況

住民意向調査の回答分析方法

問18 今後、地区でどのようなことに取り組むべきだと考えますか？

この回答の分析を、「とても重要」を5点、「重要」を4点、「どちらとも思わない」を3点、「重要でない」を2点、「全く重要でない」を1点として評価している。

質問

備することとされており、現在は適正に処理されている。この点は確認している。

監査委員から「支出は認められない」とされた旅費（各人1万6千円）が返還されていないことについてどう考えるのか。

質問

●答弁 多田代表監査委員 本件は議員の研修派遣に文書の作成などの手続き上の不備があったことを指摘したもの。私的流用、カラ出張のような返還に当たる事由はなかったと考えている。

今回の議員派遣が議会会議規則等の規定を守らずに実施されたことが問題の核心である。単に手続き上の不備とした答弁は理解できない。

を監査していない。指摘事項は継続して監査することにより実効性が確保される。監査していない理由を伺う。

●答弁 多田代表監査委員 全員協議会で、今後議員派遣に関する命令簿等を整

①債権の管理条例・管理マニュアルは並行して策定を

答 弁

マニュアル策定時点で条例が出来上がる



北山 朝彦 議員
きたやま あさひこ

コンは総務課が一括管理しているが各課管理にすべき)の措置状況を説明されたい。

●答弁 磯野副町長

平成30年度定期監査で、「滞納問題で検討委員会が2回開催されているが、効果的な取り組みにつながっていない」「債権管理条例の制定、施行、債権管理事務マニュアル作成に取り組み」等の指摘があった。その後の措置状況を説明されたい。また、備品台帳は、平成28年度から各課統一の備品台帳で管理されていると思う。今回の指摘(パソ

第1回検討委員会は平成30年9月7日開催で、町税等の徴収対策検討委員会立ち上げ規程の策定、債権管理条例制定の方向性、納付機会の拡充等について話し合った。第2回検討委員会は11月30日開催、コンビニ納付やクレジットカード収納が県内市町村でどの程度取り組んでいるか、システム対応費用はどの程度かを話し合った。その後、債権管理マニュアル策定を優先し検討関連資料の収集を

行っている。また、プロジェクトチームの事務局は、徴収知識が豊富であることから税務課が適当と考えている。

質 問

債権管理条例と債権管理

マニュアルは一体、並行して策定作業すべき。また、備品台帳は、パソコンの情報漏洩問題で指摘されている、町の考えを説明されたい。

●答弁 磯野副町長

債権管理マニュアル策定時点で債権管理条例が出来上がるイメージであり、決して条例を後回しにしているわけではない。

●答弁 浜総務課長

ウイルス対策は、県のクラウドシステムを利用し、データは、各課でUSBメモリを備え付け市販のUSBメモリは使用できない設定とし、情報流出防止に努めている。

②奨学金制度で人材を町に留める施策を

答 弁

教育委員会としてしっかり考えたい

質 問

徳島県や那賀町は、人口流出の歯止め対策として育英奨学金制度の改正をしている。しかし、教育委員会

の考え方に「過疎対策の観点」と「平等の観点」があり、美波町育英奨学金制度改正が進まない。今後は、従来より踏み込み「過疎対策の

観点」でも検討すると前定例会で明言した。その後の検討状況を説明されたい。

●答弁 寺内教育長

5月定例会教育委員会では、海部郡内の支援制度資料、助成金交付要綱を確認。6月定例会教育委員会では、海部郡外の支援制度資料で知識を深めたい。今後も協議を続ける。

質 問

美波町総合計画では、「総人口が減少しても人材が増える町」を基本的な考え方に掲げている。多くの人材を美波町に留める施策を進めてもらいたい。

●答弁 寺内教育長

人材が増える町にする話 は、できる施策を組み立て対応していくが、帰れる人、帰れない人の平等性・公平性で悩んでいる。慎重かも分からないが教育委員会としてしっかり考えたい。

①し尿処理施設を廃止し、日和佐浄化センターに統合できないか

弁 下水道への接続は衛生組合の問題で、答えられない



えびすの 戒野 ひろし 博議員

したのか。
下水道の計画人口が減る将来、クリーンセンターへの搬入分を日和佐浄化センターの流入路に入れて処理統合出来ないか。

質問
し尿処理施設（日和佐クリーンセンター）の耐用年数が来ているのではないか。
水質環境基準を満たしているとして35年の継続延長協定書を結んできたが設備更改で今後もやっていくのか。地元住民に同意を得て再延長を



衛生処理組合が管理する、し尿処理施設

●答弁 磯野副町長

耐用年数の関係で協定期間を15年にした根拠は資料を持ち合わせていない。
昭和63年建設で新耐震基準に適合し、鉄筋コンクリート造で耐用年数が50年である。経年劣化が進行する機械設備等は計画的に修理や更新を行っているので、改築は予定していない。
毎年の水質検査では環境基準を満たしており、基準を超えたことはない。
関係住民の同意は平成15年2月と平成25年6月に経過説明会をしているが外儀町には案内していなかった。

理や更新を行っているので、改築は予定していない。
毎年の水質検査では環境基準を満たしており、基準を超えたことはない。
関係住民の同意は平成15年2月と平成25年6月に経過説明会をしているが外儀町には案内していなかった。

今回の説明会には案内する。公共下水道への接続は技術的には可能であっても、整備費用、維持費についてどちらが有利か、答えられない。現施設が適切に稼働していることから衛生事務組合の問題である。

②配食サービスの改善策を

弁 一食(670円)本人負担300円、町補助370円で見守り・配食に努めている

●質問

日和佐地区においては社会福祉協議会が配食サービスをを行っているが利用状況、補助金額はどうか。

日和佐地区での土・日配食ができないか。食事内容の改善、委託料の増額、委託先の分散、見直し等、利用改善への取り組みはできないか。

●答弁 大三福祉課長

美波町内在宅の65歳以上の高齢者等世帯、要援護障害者、食事の準備が困難な方に安否確認と共に食事配達をしている。1食670円(本人負担300円、370円を町補助)利用者132人(由岐56人日和佐76人)ひと月あたり、1300〜1400食、高齢者が誤嚥をしないようにとろみを付けた料理がある。4月の町のアンケートでは土日は配食希望者もいたが、委託業者と連携し、適正なサービスに努める。



とろみの多い弁当

**1 映画「波乗りオフィスへようこそ」を
どのように上映していくのか**

答 弁 上映方式を決めて、早期に町内での上映
をした



やまもと まさお 議員
山本 正男

券) 上映する仕組みで、町
としての負担金はない。定
額貸付方式は町や企業が一
定額を支払い、上映素材を
借上げ、個人負担を有料・
無料にするかは上映者が決
める。

町内での上映をしたい。
映画の総製作費は6, 5
00万円で、町からは1,
000万円を補助している。

質 問 大都市でも上映され、徳
島イオンシネマでは5, 3
00人余りの方が見られ大
ヒットであったと報告され
ている。地元美波町ではス
ローシネマ方式あるいは定
額貸出方式とするのか。上
映時期等は、また映画の製
作費はいかほどか、美波町
からの出資額は。

答 弁 岸本政策推進課長
スローシネマ方式は入場
料を個人で支払い(前売り



2 持続可能な稲作農業への取り組みは

答 弁 生産者、JAと協力体制を取り、国の政
策動向を踏まえ、持続可能な稲作農業に
取り組みたい

質 問

小規模農業者に対し、稲
作農業が持続できるよう、
更に本町独自の施策を取り
入れるべきではないか。

答 弁 島村産業振興課長
平成29年に天皇陛下に献
穀された特別栽培米「乙姫
米」などのブランド化、ま
た飼料米、WCS(稲発酵
粗飼料)用稲等への転換も
持続可能な稲作農業を実現
するための方法であると考
えている。中山間地域直接
支払金約1, 900万円、
多目的機能支払交付金約3
70万円が交付されており、
3戸以上の組織を対象とし
て150万円を限度に経費
の2分の1以内を補助して

いる。農山漁村持続活性推
進事業補助金が町独自の施
策。

答 弁 影治町長
赤松地域で耕作できない

農地を有償でシニア世代の
組織的な力を借りて請負う
形を実証実験的なモデル地
域として取り組みはじめて
いる。うまくいけば他の地
域にも広げてもらい、ある
程度方向性の見える今年1
年の取り組みとしたいと考
えている。

3 斎場の統合計画はないのか

答 弁 統合計画はない
火葬の時間短縮はできない

質 問

斎場の町内統合計画は。
また、日和佐斎場において
の火葬時間の短縮化は図れ
ないか。

答 弁 南住民生活課長
由岐の火葬炉はセラミッ

クス製で日和佐斎場より短
時間で火葬できるが、修繕
費は約120万円と高額
(日和佐の修繕費10万円程
度)であり、既存の火葬炉
が使用不可になるまで使用
したい。統合計画はない。

①学校の統合計画は

答 弁

議論していない



なかがわ なおき 議員
中川 尚毅

年に在籍者がいないとき、中学校で5教科の教科担任が配置できないとき。統合の課題は、通学手段や環境変化への対応、地域と学校との関係の希薄化、地域の拠点機能の継承等。今後ど

質 問
生徒数が減ってくるが、委員会ではどう捉えているのか。統合について考えているのか。(5月1日現在)

●答弁 寺内教育長
令和7年で推計、中学校生徒104人、13名の増加、小学校児童百九十四名で16名の減少。こども園園児は、就園が義務でないので推計は控える。

統合の計画は策定していないが、児童生徒の学習に支障があると判断したとき統合する。例えば、複数学

園児・児童・生徒数 (令和元年5月1日現在)

由岐中学校	18人
伊座利分校	3人
日和佐中学校	70人
伊座利小学校	9人
由岐小学校	52人
日和佐小学校	149人
阿部子ども園	7人
由岐子ども園	25人
赤松子ども園	9人
日和佐子ども園	96人

う取り扱うかも考えている。ただいっただけだけの人数になつたら統合するとか突き詰めた議論はない。

②返還金700万円の時効はいつか

答 弁

来年3月4日が時効成立日

質 問

特定非営利活動法人の返還金について平成28年度に700万円がまだ残っているが、この回収見込みについて聞きたい。時効がいつか。もし時効になつたらどうなるのか。

●答弁 礒野副町長

現在、特定非営利活動法人は、財産も無く解散していることから、5月に弁護士とも相談しながら債務者と面談し、納付方法について協議を進めている。700万円の時効は民法の規定を準用して5年。平成27年3月5日が時効中断日で、来年3月4日が時効成立日となるので、それまでになんらかの時効中断をしない

限り債権は消滅する。

質 問

今年の5月に協議を始めたとあるが、それ以前の担当者は誰か。

●答弁 礒野副町長

平成26年11月30日に補助金の返還命令を町から出した。その時の担当が福祉課。その後、一部入金等があったけれども、滞っている。元代表に分納誓約もいたっていた。弁護士等との協議は副町長が中心となっていて、私が引き継いでいる。来年の3月6日で時効になる。それまでにはなんらかの措置をしたい。

住民に返す - 議会だより報告会 -

平成 31 年 4 月 27 日(土)
13:30 ~ 15:30



住民出席者7人
議会出席者6人（向山議長、広報委員全員）

平成 31 年 4 月 28 日(日)
13:30 ~ 15:30



住民出席者6人
議会出席者5人（広報委員全員）

日和佐公民館		外ノ磯公民館	
出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○議会としての報告会を開催できないか。	山本副議長が主導して、開催方法、回数等を検討中である。（美波町議会）	○テレビ中継の実施上、学校行事等で十分人権に配慮すべき。	テレビ中継が実施された場合は、人権は十分配慮することとなる。（美波町議会）
○テレビ中継のアンケートは怎么样了のか。	アンケートの実施については、多々意見があり目下検討中である。（美波町議会）	○嵐橋の改良について。	改良方策や安全対策等について、技術・費用面を考察の上、検討する。（建設課）
○想定津波高の観光客への対応は。	各所に津波避難看板を設置し、津波避難マップもホームページ上で確認できる。現在、防災アプリを作成中で、完成後は最寄りの避難場所や災害情報入手が可能で、今後は宿泊先等に案内書を配布する。（消防防災課）	○海部郡ゴミ焼却場問題で、早期に解決するため既存施設（牟岐町）を改良の方向で進めてもらいたい。	海部郡衛生処理事務組合の議会において協議を進める。（美波町）
○町民グラウンドの鎖は必要ないのでは。	不要な車の進入や長期駐車等を防止するため、鎖は必要と考える。（教育委員会）	○し尿処理施設の耐用年数の問題。	昭和63年4月稼働、建物の耐用年数は50年（今年で31年）。機械は耐用年数に応じて更改しているので問題はない。（美波町）
○旧藤岡邸の利用状況	大学との連携事業や、徳島県、サテライトオフィス関連で多くの方が利用している。（政策推進課）		
○桜町には避難タワー等は必要ないのか。	桜町地区は特定避難困難地に該当してないので、津波避難タワーを建設する計画はない。（消防防災課）		

住民の生の声を町に伝え

令和元年5月25日(土)
13:30～15:30



住民出席者3人
議会出席者7人
(向山議長、広報委員全員、豊崎事務局長)

令和元年5月26日(日)
13:30～15:30



住民出席者9人
議会出席者6人 (向山議長、広報委員全員)

阿部公民館		山河内公民館	
出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○タクシー助成は、由岐まで3300円(日和佐まで5000円)が個人負担1000円で助かっている。日曜日休みが不便。	会社の経営に、行政が関与することは難しい。 (総務課)	○森林環境税を、林業の活性化に使ってほしい。	県南5市町と県で「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」を設立。森林経営管理法や森林環境(譲与)税に係る制度の周知、森林所有者への意向調査を行う。税は、協議会への負担金や森林整備、担い手対策に使われる。(産業課)
○高齢者(介護認定されてない方)を、一時預かりができるような施設等ができないか。	生活支援ハウスに空きがあった場合、利用対象条件を満たせば対応している。 (福祉課)	○出張診療(山河内で火曜日の13時から14時)で利用促進策は。	移動手段のない遠隔地患者の医療に対する利便性を向上させるために出張診療を行っている。 (日和佐診療所)
○学校横の「町道阿部4号線」を車が通れるようにできないか。毎年要望を出しているが結果報告がない。	国庫補助事業による整備を検討している。 (建設課)	○災害時に住民からの情報を入手することで、町の対応がスムーズに行える手立ては。	防災対応は、住民からの連絡で災害情報を受けると、それぞれの管理者に連絡し対応する。町道関係は直接建設業者等に連絡して対応。 (消防防災課)
○阿部校の有効活用について町の考えは。	今は、防災活動等で利用している。今後も地域の意向を聞き活用していく。 (教育委員会)	○テレビ中継へのアンケートはするまでもない。そんな間があればテレビ中継を実施すべき。	テレビ中継の実施については、賛否両論があり、アンケートの実施についても、多々意見があり目下検討中である。 (美波町議会)
		○民間のブロック塀崩壊対策に補助できないか。	地震等で倒壊の危険性のあるブロック塀に撤去の補助金を交付している。 (消防防災課)

議会だより報告会

令和元年6月25日(火)
19:00～21:00



住民出席者 12人
議会出席者 7人

(向山議長、広報委員全員、豊崎事務局長)

令和元年6月28日(金)
19:00～21:00



住民出席者 9人

議会出席者 6人 (向山議長、広報委員全員)

西新町公民館

田井集会所

出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○議会開会の放送は、機械的で住民に議会の傍聴を促す放送に感じられない。	放送内容を改善したい。 (美波町議会)	○公共用地の買収価格が安い。	町では、公共用地の取得において、不動産鑑定士による近隣地の取得事例や鑑定価格等により適正な価格を算定している。 (建設課)
○街路樹の葉が側溝に落ちて、掃除が大変。	側溝等の排水に支障がある場合は、県に相談して対応している。 (建設課)	○建設資材の価格が上がっている現在、高台整備建設費40億円と聞くと最終建設費は倍になるのでは。また、それにより税金が上がるのが心配。	建設費は現時点での概算となっている。この事業により税金があがることはない。 (副町長)
○一般質問で、監査委員の答弁に納得できない。	わかりやすい答弁となるよう促したい。 (美波町議会)	○恵比須洞の遊歩道に危険な場所がある。	恵比須洞の遊歩道は四国の道であり、県管理となっているため、県に対して補修の依頼を行っている。 (産業課)
○瓦を割られたので、町内に防犯カメラを設置してもらいたい。	現在のところ、防犯カメラの設置は予定していない。 (総務課)	○バイパスの話もあるが、落石注意の道を住民が通っている。住民の安心安全を今の道でも考えてもらいたい。	管理者の徳島県に対し、県道日和佐小野線の安全管理・対策の要望を行っている。 (建設課)
		○美波町には、各分野で活躍した人材がいる。その方々に町活性化に協力願っては。	町の新たなキャッチフレーズ「にぎやかそ」は、多くの方々に関して頂く共創によるまちづくりを目指すもので、町内外問わず今後も協力をお願いしていく。 (副町長)

議長・議員の主な活動状況

(平成31年3月定例会)

令和元年6月末日

- 3月19日 総務産業建設常任委員会
- 3月22日 阿南市地域医療確立対策協議会臨時総会
- 3月30日 議会だより報告会(西の地公民館)
- 3月31日 議会だより報告会(大戸公民館)
- 4月5日 議会広報特別委員会
- 4月8日 議会運営委員会
- 4月17日 議会広報特別委員会
- 4月18日 全員協議会
- 視察受入れ(奈良県明日香村・高取町) サテライトオフィス
- 4月22日 徳島県町村議会議長会臨時役員会
- 4月25日・26日・5月10日・13日・14日・15日・16日・17日・20日・21日・30日 議会広報特別委員会(編集作業)
- 4月27日 議会だより報告会(日和佐公民館)
- 4月28日 議会だより報告会(外磯公民館)

民館)

- 5月16日 総務産業建設常任委員会
- 5月17日 海部郡議長会総会
- 5月21日 美波町育英奨学生審査委員会
- 5月22日 徳島県町村議長会総会
- 5月24日 阿佐東線連絡協議会総会
- 5月25日 議会だより報告会(阿部公民館)
- 5月26日 議会だより報告会(山河内公民館)
- 5月27日 議会運営委員会
- 5月28日 議会広報特別委員会
- 5月28日~29日 町村議会議長・副議長研修会(東京)
- 6月4日 阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会
- 6月5日 議会運営委員会
- 6月5日 全員協議会
- 6月25日 議会だより報告会(西新町公民館)
- 6月28日 議会だより報告会(田井集会所)

議長の一言

令和元年度町村議会議長・副議長研修会に参加して

研修会では、山梨学院大学の江藤俊昭氏等から議員報酬のあり方の最終報告の説明があり、次に先進議会報告がありました。

議員報酬のあり方について

今日、議員報酬・定数問題が問われている。また地方議員のなり手不足は議員報酬の少なさが一つの要因であると考えられ、その原因は議会が住民に見えず、「議会不要論」があり、「追認機関化した議会」であるのが一因と考えられている。「議員報酬・定数の削減」を克服することが、住民自治を進化させることであり、議員活動にはそれなりの報酬が必要であると考えられる。

議員報酬・定数を考える上には、議会の活性化を図り、住民に身近な議会を構築することが必要である。

先進議会報告

報告のあった3町村議会は、議会改革を進め、それぞれ特色のある活動を行っている。
 ・長野県喬木村議会では、議員のなり手不足の解消等のために、夜間・休日議会への取り組みを進めている。

・鳥取県若桜町議会では、議会の役割を果たすため、議会基本条例の下に、議会運営、議員活動の検証を行っている。

・京都府与謝野町議会では、早くから議会活性化委員会を立ち上げ町民からの議会活動に対する感想や意見を基に議会は何をすべきかを検討し、議会懇談会を実施している。

これらは、今後の美波町議会運営の参考にしたしたいと思います。

「あの答弁、ほのあとどないなっとなん!?!」



〈3月定例会一般質問より〉



	質問議員・質問内容	答 弁	現状と質問者の想い
川 尻	由岐湾内高台造成計画、事前復興町づくりをどのように進めていくのか。	志和岐谷地区を軸として由岐湾内地区防災会・関係団体と連携しながら検討していく。	できるだけ早い時期に関係団体との協議を行い、事業を進めてほしい。
宮 原	町の説明に誤りや疑問がある。日和佐こども園の高台移転への町民の合意は得られているのか。	これまでの住民意向調査、地元説明会、保護者説明会等の結果合意は得られている。	高台移転がわずか2%の保護者の賛成で進められている。町民全体の意見を確認すべきでは。
寺 下	新年度の重要事業、財政の状況、財政の健全化対策を伺う。	財源の確保を念頭に置き、滞納対策にも取り組む。	税等のコンビニ収納導入に向け検討を進めている。
北 山	志和岐地区の住民は、タクシー利用助成を受けても利用者負担は4倍になる対策は。	美波町病院連絡バス問題と並行して検討したい。	病院連絡バスの2系統化の予算可決(6月)で、10月から志和岐出発の病院連絡バスが運行。
中 川	日和佐地区でも土日の配食サービスを受けられるようにできないのか。	アンケート調査をし、土日等の配食サービス提供に向け検討する。	由岐福祉会、東紅会に打診したが、受け入れてもらえない。
戒 野	地域公共交通の確保と利便性の充実、交通弱者対策は。	タクシー助成の拡充や不便をかけない仕組みを作る。	その後変わっていない。
山 本	日和佐浦東線で緊急自動車も通れるように整備できないか。	今後、空家対策との連携を図りながら検討していく。	消防自動車も通行出来ない町道解消に向けて前向きに取り組む。
岩 瀬	小中学校のエアコン整備の完成時期は。	完成は8月末。	由岐小学校、中学校、伊座利校は9月末。日和佐小学校、中学校は10月末の完了予定。

議員28年の功績に
旭日双光章

永本善次郎氏(西河内)が、令和元年春の叙勲において旭日双光章を受章されました。

永本氏は旧日和佐町から美波町までの議員在任7期(28年)の地方自治功績が認められたものです。



「これからも町に貢献したい。」

＊旭日双光章とは

勲章「旭日章」の6等級のうち勲5等に相当する章。
国や公共に対し功労のある者に授与される。

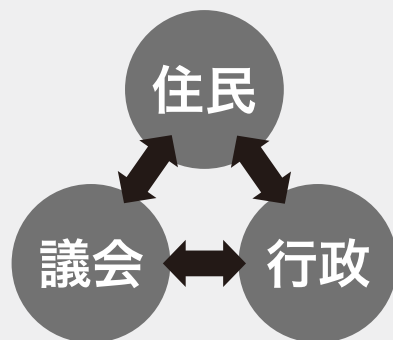
読まれるための再点検！

- ＊住民が見て興味がわく内容か。
 - ＊行政情報とは、違う切り口か。
 - ＊読みやすく、分かりやすいか。
 - ＊住民の関心のあるテーマ、事柄が載っているか。
 - ＊企画や見せ方でマンネリ化に陥っていないか。
 - ＊読みたくなるツカミやアピール力があるか。(10字程度が理想)
- (北山)

大切なこと、編集のポイントはこれだ！

- ◎ 関心が高いと思われる議案を優先掲載する。
- ◎ 1記事に1枚の写真を。見れば分かる広報に。
- ◎ 請願は住民の貴重な声、請願者氏名、趣旨、紹介議員、討論の内容、賛否結果を分かりやすく。
- 取り入れる工夫は
QRコードを使ってホームページへの誘導を(戎野)

主人公は読者



議会広報は双方向で。

読まれ、伝わる「議会だより」へ

なぜ必要か、議会だより

地方自治は住民参加が前提、情報なくして住民の参加なし。住んでいる地域のことを知り、関心を持ち、どんな政策が行われているかを知る必要がある。この情報を提供する手段の一つが「議会だより」で町行政の取り組み状況や議会活動を知ることができる。発行根拠は「議会の会議はこれを公開する」という自治法の公開原則です。(宮原)



我が家 & 私の宝物



弥生の石おの



この石斧は、長さ 19cm、刃部の巾 6cm、重さ 500g の石斧です。刃部は蛤歯の形状になっていて、色は淡く緑色を帯び透明性を保ち全面研磨した磨製石器です。素材は「ハイアロクラスタイト（硬い砂岩質）」で、鑑定では弥生期（3,000年～1,700年前）の作という。

義父（義臣）からは、「祖父（権太郎）が赤松新発谷の元屋敷付近で、明治30年ごろ発見し、神棚に祀り（まつり）受け継いできた」と聞いている。

平成13年9月20日、町有形民俗文化財（考古資料）として指定された。



赤松
にしまえ 西前 宗則さん（86歳）



6月5日の全員協議会で、向山議長が「アンケートのたたき台は広報委員会で作り、全員協議会を開催し意見を聞くことをお願いする」とまとめた。ところが、向山議長から「アンケートの実施は今後検討する」との申し入れがあったので非常に困惑している。

全国の研修会でも、「広報紙は情報を知らせる作業と、情報を得る作業の双方向が必要」と学んできた。今後さらに住民の意向を反映できる広報紙づくりに努めます。

委員長 北山朝彦

● 議会広報特別委員会 ●

〈委員長〉北山朝彦 〈副委員長〉戎野 博
〈委員〉宮原英夫 中川尚毅 山本正男

お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630

徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1

E-mail：gikai@minami.i-tokushima.jp